

ディメンジョン別強迫症状重症度尺度(DY-BOCS) 及びサンパウロ大学感覚現象評価尺度(USP-SPS) ワークショップのご案内

強迫性障害及びチック障害に関する研究で国際的に活躍しており、とりわけ phenotype 研究では指導的な立場にある do Rosário 博士をお招きし、その開発にあたって重要な役割を果たした2つの評価尺度について講演していただきます。この2つの評価尺度は、認知行動療法や薬物療法などの治療研究、遺伝子解析を含めた多様な本態研究においても重要なツールとなっていく可能性があります。バックトランスレーションを終えた日本語版も用いながらその概要を知り、質疑応答を通じてさらに理解を深めていただく機会になればと思います。

強迫性障害及びチック障害の研究や診療などに携わる多くの方々にご参加いただければ幸いです。

会期: 2009年11月8日(日)午後2時半～午後6時

場所: 東京大学医学部附属病院入院病棟A15階 大会議室
〒113-8655 文京区本郷7-3-1 Tel. 03-3815-5411(代表)

参加費: 2,000円

参加申込: ワークショップ実行委員会の連絡先にE-mailまたは
ファックスで事前申込してください

プログラム: <逐次通訳付き>

司会: 金生由紀子(東京大学医学部附属病院「こころの発達」診療部)

講演: Maria Conceição do Rosário(サンパウロ連邦大学精神科)

1. ディメンジョン別強迫症状重症度尺度(Dimensional Yale-Brown Obsessive-compulsive Scale: DY-BOCS)について—解説と質疑応答—
2. サンパウロ大学感覚現象評価尺度(University of São Paulo Sensory Phenomena Scale: USP-SPS)について—解説と質疑応答—



最寄の地下鉄の駅は、本郷三丁目(丸の内線及び大江戸線)、湯島(千代田線)です。JR御茶ノ水駅、上野駅、御徒町駅からバスがあります。

入院棟Aの夜間・休日入り口からお入り下さい

主催: 「DY-BOCS及びUSP-SPS
ワークショップ」実行委員会

連絡先:

〒113-8655 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院

「こころの発達」診療部内

Tel. & Fax.: 03-5800-8664

E-mail: kano-tky@umin.ac.jp